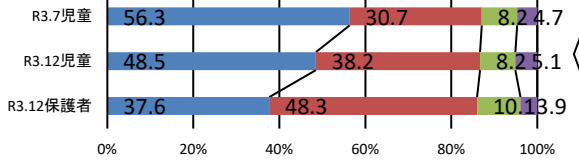


笑顔輝く 日本一の学校

～笑顔で登校、笑顔で下校、子どもの歓声が共鳴する学校

- よく当てはまる
- だいたい当てはまる
- あまり当てはまらない
- ほとんど当てはまらない

Q1. 学校は楽しいですか。(言っていますか。)



学校は子どもが充実感や所属感などをたっぷりと味わい、「楽しい」と思える場所でないといけない。アンケートでは、肯定的な回答が7月とほぼ同じ割合ではあるが、「よく当てはまる」と回答した子どもが7.8ポイント減少している。コロナ禍による影響も考えられるが、今後はより一層、「分かる・楽しい」授業づくりや、教師と子ども、子ども同士の良好な関係を構築し、すべての子どもが、「学校は楽しい！」と実感できる学校づくりに努めていく。

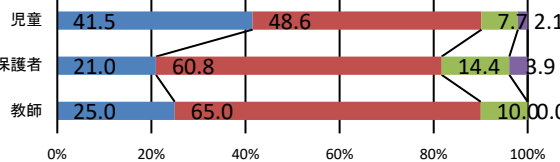


しっかり学ぶ ～“頭”いきいき～

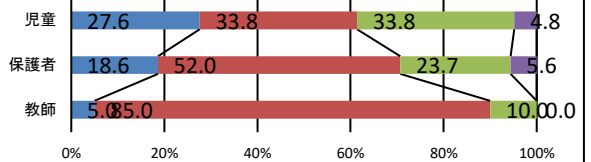
〔教師の設問〕

- Q2. 子どもたちが分かる授業づくりをしている。
Q3. 自分の考えを発表する授業づくりをしている。
Q4. 家庭学習が習慣づくようにしている。

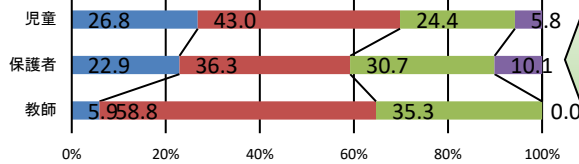
Q2. 学校の勉強はよく分かりますか。(言っていますか。)



Q3. 自分の考えを発表していますか。(言っていますか。)



Q4. 目安の時間、家庭学習をしていますか。



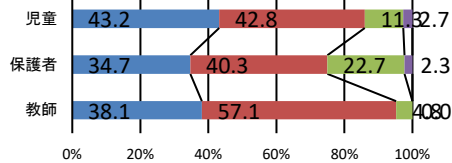
「勉強はよく分かる」の設問で肯定的な回答をした子どもは約88%であった。教師の肯定的な回答も同程度であったが、「よく当てはまる」と回答した教師は25%で、今後、子どもが「分かる喜びを味わえる」授業づくりに一層注力していかなければならない。また、コロナ禍で交流活動に制限があり、教師もその中で苦労しながらも取り組んだが、「自分の考えを発表している」と回答した子どもは昨年度に比べ大きく減少した。子ども同士が自分の考えを発表し合い、深め合う授業の工夫が求められる。家庭学習の習慣化は、教師の仕掛けや工夫もあり、昨年と比べると若干向上している。習慣化に向け、家庭と連携した取組を図っていく必要がある。

みんな笑顔 ～“心”いきいき～

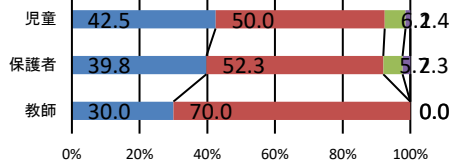
〔教師の設問〕

- Q5. 教師から挨拶し、根付くようにしている。
Q6. 思いやりの心が育むようにしている。
Q7. 読書好きになるように工夫している。

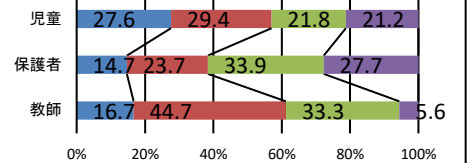
Q5. 誰とでも挨拶をしていますか。



Q6. 誰にでもやさしくしていますか。



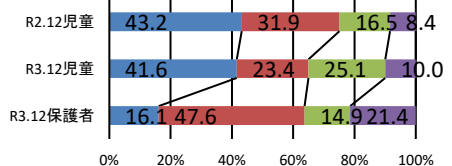
Q7. 家で読書をしていますか。



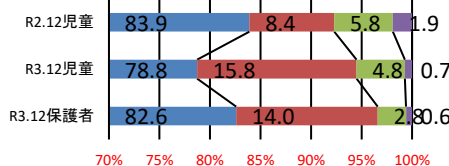
「挨拶はコミュニケーションの第一歩」を意識させ指導してきた。児童会で挨拶運動に取り組んだ成果もあり、「挨拶」は、子ども・保護者ともに80%近くが肯定的な回答をしていた。今後も教師自身が率先して挨拶をし、爽やかな挨拶が響く学校を目指していきたい。「家読」は2極化の傾向が見られる。動画の視聴やゲームなどに費やす時間が多く、読書や家庭学習の習慣が身に付いていない子どもが多いため、子どもの指導とともに家庭への啓発を一層充実させ、意識改革を図っていく必要がある。学校での「朝読書」と合わせて「家読」を推奨していく。

ずっと元気 ～“体”いきいき～

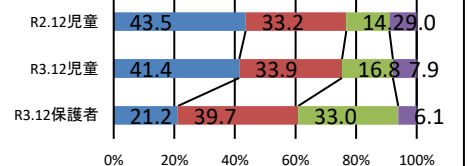
Q8. 早寝・早起きをしていますか。



Q9. 毎日朝ごはんを食べていますか。



Q10. 毎日運動をしていますか。



昨年の同時期のアンケート結果と比較すると、「早寝・早起き」で1.0%、「毎日の運動」で1.5%、否定的な回答が増加した。動画視聴やゲームによる生活習慣の乱れが一因と考えられる。逆に「毎日朝ごはん」は2.3%肯定的な回答が増加した。朝ごはんを食べ、一日のスタートをしっかりと切るよう家庭で心がけている様子が窺える。心身ともに元気に学校生活を送るためには、健康な体が欠かせない。そのためには、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとした望ましい生活習慣を身に付けるとともに、積極的に体を動かす機会を設けるなどの働きかけが必要である。